

Seiko G PLAN 2022-2026 《学校法人清光学園グランドプラン 2022-2026》

学校法人清光学園は、建学の精神に基づき以下の人材を育成することを使命とする。

- ・ 広い視野と公正で科学的な識見をもち、生涯にわたって活躍し続ける保育者・教育者
- ・ 人として生涯活躍することの意義を理解し、社会の多様な変化に対応しながら子育て家庭を支える保育者・教育者
- ・ 個性と自主性が尊重され、十分な自己発揮を通してバランスのとれた心身と非認知能力を身に付けた子ども

この使命を以て、学校法人清光学園は、社会の発展に寄与する。

建学の精神とビジョン			
岡崎女子大学	岡崎女子短期大学	附属幼稚園	こども園
<p>【建学の精神】 自己実現と社会貢献</p> <p>【ビジョン】 建学の精神、教育方針に基づき、深い人間性、高い専門性と課題探究力をもち、地域社会を支える保育者・教育者を養成する大学として、最も学びたい大学になる。</p>	<p>【建学の精神】 自由と創造・自律と貢献</p> <p>理性と伝統の上に立った自由と創造は、教育の生命である。この精神に基づいて、本学は心身ともに、健全にして、高き知性と豊かな情操をもって、国家社会の発展に貢献する、有能な女性の育成を目的とする。</p> <p>【ビジョン】 保育者・教育者を養成する分野で、地域社会から信頼され、最も学びたい「現場力 No.1」の大学になる。</p>	<p>【建学の精神】 自立 慈愛 創造</p> <p>【ビジョン】 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学の附属幼稚園として、子どもが通いたくなる、地域から信頼される幼稚園になる。</p>	<p>【保育の理念】 めざすこども像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たのしくあそぼう！ ・ かんがえてやってみよう！ ・ ねばりづよくとりくもう！ <p>◎みんな大好きたかねっこ</p> <p>【ビジョン】 岡崎女子大学・岡崎女子短期大学の附属こども園として、乳幼児が安心して通え、家庭や地域から信頼されるこども園になる。</p>

学校法人清光学園のビジョン

「建学の精神、教育・保育方針に基づく教育・保育を実践し、社会に貢献することのできる、確固たる基盤を有する学校法人」になる。

	学生募集	学生支援	教育支援	就職・卒後支援（就業力）
岡崎女子大学	<p>【達成目標】</p> <p>アドミッション・ポリシーに基づく入学者の定員を確保する。</p> <p>【評価指標・実行計画】</p> <p>① 志願者数を入学定員以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランディングの認知度向上のための、デジタルマーケティングの強化（Instagramの充実等） ・高校訪問やガイダンスについて、拡大したエリアや件数の維持 ・学科教員の高校訪問の継続 ・保育希望者を掘り起こすための、中学生を対象とした募集活動の実施（模擬授業、ボランティア等） ・卒業生や保育現場と協働した募集活動（ボランティア受け入れの依頼、交流会の実施等） ・地域になくってはならない大学になるための、広報活動の実施（Open campusの実施、学科行事の広報等） ・高大連携事業の拡大（1校1、2名の担当者制、事業実施高校の拡大） <p>【実施主体】</p> <p>アドミッション・オフィス（入試募集対策会議）、入試募集委員会、学科、入試広報課</p>	<p>【達成目標】</p> <p>学生が満足度の高い学生生活を送る。</p> <p>【評価指標・実行計画】</p> <p>① 2022年クール（2022～2026年度）の卒業生率（入学者数に対する卒業生数の割合）を2017年クール（2017～2021年度）以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休退学者を減らすための支援をする。 <p>② 学生生活の満足度の肯定回答率を80%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生満足度調査の内容を精査し、学生が本当に求めていることを分析した上で、必要な支援を行い、非肯定回答率を減少に導く。 <p>【実施主体】</p> <p>学生委員会／学生支援チーム、キャリア支援委員会／キャリア支援チーム、学科、学生支援課（含保健室）、キャリア支援課、大学総務課</p>	<p>【達成目標】</p> <p>学生が高校までの学びや経験を入学後の学修にスムーズにつなげ、ディプロマ・ポリシーを達成する。</p> <p>【評価指標・実行計画】</p> <p>① 学生が授業内及び授業外での学修を行い、必要な単位を修得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「修得した単位数が当該年次の学生の平均修得単位数の6割以下の者」の実態を把握する。 ・「学修の記録（履修カルテ）」を継続的に記録し、すべての学生が学修達成度を自身で把握し自己点検・評価を行い、それらを担当教員が確認する。 <p>② インクルーシブ教育士（学内資格）の取得率やオカジョグレード（学内検定）の取り組み率を増やす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学内認定資格、学内検定取得のための指導充実を図る。 ・卒業後の大学の学びについての追跡調査を実施し、授業改善に役立てる。 <p>【実施主体】</p> <p>教務委員会／教務チーム、FD委員会、図書館、学科、教務課、大学総務課、情報メディアセンター、キャリア支援委員会／キャリア支援チーム</p>	<p>【達成目標】</p> <p>修業年限を終えた全ての学生が、就職・進学し、就職した者は就業を継続する。</p> <p>【評価指標・実行計画】</p> <p>① 就職率を100%にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院進学者を除く保育・教育職の就職率を95%にする。 <p>② 愛知県内の保育者及び教育者を養成する大学の公務員就職率において上位を堅持する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公務員合格率（合格者/就職希望者）を45%にする。 <p>③ 小学校教員採用選考試験の各年度の合格者数の目標値を達成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員採用選考試験の合格者数、小学校への就職者数を学校教育コース学生数の30%以上にする。 <p>④ 2022年クールの早期（就職後3年以内）離職者を2017年クール以下にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生への懇談会を実施し、卒業生と情報を共有し、相談に応じ離職防止につなげる。 ・「卒業生職場訪問」を実施し、卒業生や所属長と個別に面談し、卒業生の就労状況を把握するとともに、卒業生へのアンケート踏査を実施し、その結果を離職防止に役立てる。 <p>【実施主体】</p> <p>教務委員会／教務チーム、キャリア支援委員会／キャリア支援チーム、リカレント教育推進室、学科、キャリア支援課</p>

	地域連携	教学マネジメント
岡崎女子大学	<p>【達成目標】</p> <p>様々な活動を通じて、教育・研究の進展を図り、地域の課題の解決に貢献する。</p> <p>【評価指標・実行計画】</p> <p>① 本学の特徴や強み、役割等を踏まえた地域連携活動を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西尾市離職防止事業の研修システムを他市や他団体に提供できる「離職防止システム」に改良し、汎用化を進めていく。 ・地域連携の安定と拡大に励み、卒業生と連絡が取りあえるシステムを構築して、連携を図りやすい状況を作る。 <p>② 地域における大学や高校、自治体等との連携を継続的にを行い、学内外での生涯学習等の活動を一層推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における様々なボランティアに参加することによって、地域の課題について知り、その解決策について地域の方々と一緒に考え、貢献しようとする学生を毎年一定数（15人程度）確保する。 ・必要なボランティア登録者を一定数確保し、要望に応える。 <p>③ 学科内での推進体制を明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学園との連携高校（岡崎商業、光ヶ丘女子、岡崎東、豊川、豊田東、杜若、松平）とは模擬授業やイベントの協力など、教員は毎年1回以上協力する。 ・あそびの箱・おはなしの森において、教育活動である「わくわくデー（授業、クラブ・サークルでの子どもとの触れ合い）活動」の継続と活性化（前年度を上回るような周知の方法に工夫を凝らした働きかけ）を行う。また、本学付属幼稚園に働きかけ、付属幼稚園児の計画的な利用を促していく。 <p>【実施主体】</p> <p>リカレント教育推進室、子ども好適空間研究所、学科、教務課、学生支援課、大学総務課</p>	<p>【達成目標】</p> <p>学修者本位の教育の質の向上を図り、本学の建学の精神に基づく教育目的を達成するための管理運営体制を構築し、内部質保証システムを推進する。</p> <p>【評価指標・実行計画】</p> <p>① 学生の学修目標として、ディプロマ・ポリシーを具体的かつ明確に設定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生の学修目標が、ディプロマ・ポリシーを具現化しているか、その表現は明確でわかりやすいものになっているかを各授業担当者から提出されるシラバス（学科DPとの関連や授業の到達目標）や授業アンケート報告書等の記述から確認する。 <p>② ディプロマ・ポリシーを達成するために、教育課程を編成・実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディプロマ・ポリシーを達成するために、教育課程が編成・実施されているか、本学が大学自己点検・評価を行う際の基準、認証評価機関や日本学術会議より示されている参照基準等によって確認する。 <p>③ 学生が自らの学修成果を自覚し、エビデンスとともに説明できるようにするため、学修成果・教育成果を把握・可視化している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学修成果・教育成果を把握・可視化をしているかどうかを学生自身が自己評価を行う。 <p>④ 教育改善活動としてFD・SDを組織的かつ体系的に実施するとともに、教学IRの制度整備、人材育成を推進している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FD教育活動として、Web Classをはじめとする学習管理システムの活用状況を検証し、効果的な利用を促進する。またループリック評価の活用を促進する研修を行う。 ・SD教育活動として(1)学内研修会の実施(2)学外研修会・セミナー等への参加と成果発表会の実施(3)自己啓発の推進を行う。 ・教学IRが機能するために必要な組織の在り方について、その方針を定め、その方針に沿って規程の整備等を行う。 <p>⑤ 学習成果・教育成果を自発的・積極的に公表し、社会からの信頼と支援を得ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学科行事（丘の上の音楽会、子ども教育フォーラム等や紀要等）で学修成果・教育成果を積極的に公表する。 ・入試広報課や各学科の広報チームを中心にWebを通してホームページ等で学内の取り組み状況を発信する。 ・園長や施設長からの聞き取りやアンケート等の分析結果等から、社会からの支援や信頼を得られているかどうかを確認する。 <p>【実施主体】</p> <p>学長室会議、大学・短期大学運営会議、自己点検・評価委員会、IR推進室、FD・SD委員会、学科、大学事務局各課</p>

	学生募集	学生支援	教育支援	就職・卒後教育（就業力）
岡崎女子短期大学	<p>【達成目標】 アドミッション・ポリシーに基づく入学者の定員を確保する。</p> <p>【評価指標・実行計画】 ①幼児教育学科（第一部、第三部）の各志願者数を、入学定員以上にする。 ・連携校のつながりを強くする。 ・高校生と教員の関わりの機会を増やす。 ・奨学生制度を設け、広報する。 ・学科の取り組み、魅力を広く周知する。 ・受験者層の拡大を図る。 ・受験をしやすいとする。 ・他大学の情報を収集する。</p> <p>【実施主体】 学科、入試広報課、入試募集委員会、アドミッション・オフィス、学長室会議</p>	<p>【達成目標】 学生が満足度の高い学生生活を送る。</p> <p>【評価指標・実行計画】 ①2022年クール（2022～2026年度）の卒業生数（入学者数に対する卒業生数の割合）を2017年クール（2017～2021年度）以上にする。 ・学修を継続させる。 ・不安を抱える学生を早期発見し、問題解決につなげる。 ・学納金による退学をなくす。 ・人間関係による退学をなくす。 ・家庭との連携を強化する。 ②学生生活の満足度の肯定回答率を80%以上にする。 ・満足度の指標を調査する。 ・課外活動の満足度を高める。 ・飲食に関する満足度を高める。 ・通学に関する満足度を高める。 ・アメニティグッズの満足度を高める。 ・授業の満足度を高める。 ・施設の満足度を高める。 ・教職員との係りに関する満足度を高める。 ・学生の自治性を高め、満足度を高める。</p> <p>【実施主体】 学科、学生支援課、教務課、キャリア支援課、入試広報課、大学総務課、総務課、学生委員会／学生支援T、教務委員会／教務T、情報メディアセンター、FD委員会、人権問題委員会、学長室会議</p>	<p>【達成目標】 学生が高校までの学びや経験を入学後の学修にスムーズにつなげ、ディプロマ・ポリシーを達成する。</p> <p>【評価指標・実行計画】 ①学生が全ての履修科目の単位を修得する。 ・学生が履修について理解している。 ・学修相談の充実を図る。 ②学生が保育者に必要な資質能力の獲得状況を認識している。 ・学生が自分の学びの状況を的確に把握する。 ・アクティブ・ラーニングができるようにする。 ③2つの学内資格の取得率を増やす。 ・学内資格の意義を広く周知し、質を高める。 ④（現ビ）建学の精神に基づく教育目標を達成する。 ・（現ビ）学生が希望する職種に応じた資格を取得する。 ・（現ビ）学生が2年間の学びを卒業研究にまとめる。</p> <p>【実施主体】 学科、教務課、学生支援課、大学総務課、教務委員会／教務T、FD委員会、情報メディアセンター、図書館</p>	<p>【達成目標】 学生が望む就職ができ、就業を継続する。</p> <p>【評価指標・実行計画】 ①就職率を100%にする。 ・キャリア支援教育の充実を図る。 ・就職対策講座の充実を図る。 ・本学独自のキャリア支援を行う。 ②2022年クールの公務員（保育職）採用試験の合格率を2017年クール以上にする。 ・公務員対策講座の充実を図る。 ・奨学制度を設ける。 ③（現ビ）医療事務・金融・地域の特色ある企業への就職者を2021年度以上の割合にする。 ・（現ビ）学科独自のキャリア支援教育の充実を図る。 ④2022年クールの早期（就職後3年以内）離職者を2017年クール以下にする。 ・就職した卒業生のための相談窓口を設ける。 ・卒業生訪問を全学科教員で実施する。 ⑤オカタン子どもサポーターとして、保育施設でアルバイトをする学生を増やす。 ・オカタン子どもサポーターの価値を高める。 ・オカタン子どもサポーターの協力圏を増やす。</p> <p>【実施主体】 学科、キャリア支援課、キャリア支援委員会／キャリア支援T、教務委員会、リカレント教育推進室</p>

	地域連携	教学マネジメント
岡崎女子短期大学	<p>【達成目標】 様々な活動を通じて、地域の教育・保育の進展を図るとともに、文化交流の活性化に貢献する。</p> <p>【評価指標・実行計画】 ①研修や交流などの活動を活性化するために、さんぼの会の会員を増やす。 ・情報発信・広報の充実を図る。 ・ニーズに合う研修会や交流会を企画・実施する。 ②全ての教員が、年度毎に設定した地域貢献の目標を達成する。 ・地域貢献を意識した教育活動を実践する。 ③2022年クールの正課教育、課外活動における学生と地域とのつながりの件数を2017年クールより増やす。 ・地域とのつながりを持ちやすくする。 ・地域の人が参加するプログラムのサポートを充実する。 ・学生と地域とのつながりの件数を正確に把握する。 ④（現ビ）学科独自の取り組みを継続する。 ・（現ビ）現代GPでの取り組みを維持する。 ・（現ビ）専門ゼミナールでの地域活性化研究の成果を公表する。 ・（現ビ）対外活動への参加を積極的にする。</p> <p>【実施主体】 学科、入試広報課、学生支援課、教務課、大学総務課、学生委員会、リカレント教育推進室、子ども好適空間研究所</p>	<p>【達成目標】 学修者本位の教育の質の向上を図り、建学の精神に基づく教育目的を達成するための管理運営体制を構築し、内部質保証システムを推進する。</p> <p>【評価指標・実行計画】 ①学生の学修目標として、ディプロマ・ポリシーを具体的かつ明確に設定している。 ・ディプロマ・ポリシーを点検する。 ②ディプロマ・ポリシーを達成するために、教育課程を編成・実施している。 ・教育課程の編成及び実施状況を確認する。 ③学生が自らの学修成果を自覚し、エビデンスとともに説明できるようにするため、学修成果・教育成果を把握・可視化している。 ・学修成果・教育成果を把握・可視化している。 ④教育改善活動としてFD・SDを組織的かつ体系的に実施するとともに、教学IRの制度整備、人材育成を推進している。 ・ディプロマ・ポリシー達成を支援するためのFD・SD研修を行う。 ・教学IR機能を活性化する。 ⑤学習成果・教育成果を自発的・積極的に公表し、社会からの信頼と支援を得ている。 ・学修成果を公表する。</p> <p>【実施主体】 学科、大学事務局各課、自己点検・評価委員会、FD・SD委員会、IR推進室、大学・短期大学運営会議</p>

	園児募集	教育・保育の方針	子育て・保護者支援	小学校との接続
付属幼稚園	<p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入園者数を確保する。 <p>【評価指標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①各幼稚園の見学者数が前年度を下回らない。 ②見学者の60%が各幼稚園への入園を決定する。 ③未就園児受入れ事業に参加した子どもの80%が入園する。 ④各幼稚園の入園希望者数が定員数に近い。 <p>【実行計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各幼稚園の特色と魅力を明確にし、ホームページ等で園の魅力を発信する。 ・園見学を訪れた親子に遊びの場を設けるなど丁寧に対応する。 ・未就園児受け入れの会の担当で綿密な打合せを行い、会の内容を充実させる。 ・満3歳児の受け入れ数の拡大を進める。 <p>【実施主体】 各幼稚園、法人総務課</p>	<p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ありのままの自分を受け入れられ、自己肯定感のある幸せな子どもの笑顔があふれている。 ・保護者とのパートナーシップを構築する。 ・岡崎女子大学・岡崎女子短期大学の付属幼稚園として、保育者をめざす学生の実習指導の充実を図る。 <p>【評価指標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①表出された外面的な様子(表情、しぐさ、行動、言動等)から、子ども理解が十分にできている。 ②個の育ちのプロセスを見る目を養い、園内研修によって共通理解度を高める。 ③実習生への実習満足度調査を実施し、実習指導の質の向上を図る。 <p>【実行計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の健康観察により子どもの状態を把握して教育・保育活動を展開し、子どもの変容を記録して次へ生かす。 ・朝夕の職員打合せで子どもや保護者の情報を共有し、全職員で保護者との連携を図る。 ・大学教員を招聘した研修会を年に複数回実施し、教員の実践力の向上を図る。 ・実習生への実習満足度調査を実施し、結果をもとに実習指導の質の向上を図る。 <p>【実施主体】 各幼稚園、岡崎女子大学・岡崎女子短期大学実習委員会</p>	<p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育てセンター的な役割を果たす。 ・通常の教育時間の前後や長期休業期間中などに、在園児の希望者を対象に教育活動を行う。 <p>【評価指標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者の子育てに対する不安やストレスを軽減し、喜びや生きがいを感じる。 ②保護者が安定した気持ちで子育てをすることによって、子どもの心が安定する。 <p>【実行計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業期間中などに園庭開放日を設け、積極的に利用者を受け入れる。 ・預かり保育時間の延長を検討し、開始する。 ・夏季預かり保育期間の拡大を検討し、ニーズに応じて可能な範囲で開始する。 ・子育て講演会を開催するとともに、個別の子育て相談を実施する。 <p>【実施主体】 各幼稚園</p>	<p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるようにする。 <p>【評価指標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①卒園児全員が休まず小学校に登校し、小学校生活を楽しみながら学習に意欲的に取り組んでいる。 <p>【実行計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒園児の園生活の状況を具体的に記録し、幼稚園幼児指導要録を小学校へ送るとともに、小学校で担任する教師に詳しく伝達する。 ・小学校教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有する。 <p>【実施主体】 各幼稚園、入学予定の小学校</p>
	こども園	<p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入園者数を確保する。 <p>【評価指標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①こども園の入園希望者数が定員数に近い。 <p>【実行計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども園の特色と魅力を明確にし、ホームページ等で園の魅力を発信する。(令和4年度後半から実施予定) ・地域に根ざした園であり続けるために、地域の回覧版等を活用し、こども園の様子を発信する。 ・園見学や“子育てひろば”を訪れた親子とのコミュニケーションを図り、丁寧に対応する。 ・入園児については豊田市役所保育課と調整を行い、乳幼児を積極的に受け入れる。 <p>【実施主体】 こども園、法人総務課</p>	<p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ありのままの自分を受け入れられ、自己肯定感のある幸せな子どもの笑顔があふれている。 ・保護者とのパートナーシップを構築する。 ・岡崎女子大学・岡崎女子短期大学の付属こども園として、保育者をめざす学生の実習指導の充実を図る。 <p>【評価指標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①表出された外面的な様子(表情、しぐさ、行動、言動等)から、子ども理解が十分にできている。 ②個の育ちのプロセスを見る目を養い、園内研修によって共通理解度を高める。 ③実習生への実習満足度調査を実施し、実習指導の質の向上を図る。 <p>【実行計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎朝の健康観察により子どもの状態を把握して教育・保育活動を展開し、子どもの変容を記録して次へ生かす。 ・朝夕の職員打合せで子どもや保護者の情報を共有し、全職員で保護者との連携を図る。 ・大学教員を招聘した研修会を年に複数回実施し、保育教諭の実践力の向上を図る。 ・豊田市主催の各種研修会に参加し、保育教諭の実践力の向上を図る。 ・実習生への実習満足度調査を実施し、結果をもとに実習指導の質の向上を図る。 <p>【実施主体】 こども園、岡崎女子大学・岡崎女子短期大学実習委員会</p>	<p>【達成目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育てセンター的な役割を果たす。 <p>【評価指標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保護者の子育てに対する不安やストレスを軽減し、喜びや生きがいを感じる。 ②保護者が安定した気持ちで子育てをすることによって、子どもの心が安定する。 <p>【実行計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週月・火曜日を“子育てひろば”の日とし、未就園児の親子に園庭開放や地域交流室に親子で安心してくつろげる遊びのコーナーを設け、積極的に利用者を受け入れる。 ・未就園児の親子が触れ合いながら楽しい経験ができるよう計画を立て実践する。 ・子育て講演会を開催するとともに、個別の子育て相談を実施する。 <p>【実施主体】 こども園</p>

	地 域 連 携	園 経 営 (マネジメント)
付属幼稚園	<p>【達成目標】 ・幼稚園における生活が家庭や地域との連続性を保ち、子どもが豊かな生活体験を得る。</p> <p>【評価指標】 ①地域の自然環境、行事や公共施設などの社会的・文化的資源並びに高齢者や異年齢の子どもなどを含む人材を積極的に活用できている。</p> <p>【実行計画】 ・各園の周辺環境や特色を生かしたり、外部人材を活用したりする。それぞれの年齢に応じたイベントを年に複数回設ける。 ・大学施設の活用や教員の授業、クラブ・サークル活動との連携を図る。</p> <p>【実施主体】 各幼稚園</p>	<p>【達成目標】 ・幼稚園設置基準に基づき、園長、主任及び各クラスの専任教諭を配置する。 ・毎年度末に当該年度の園経営を振り返り、子どもを取り巻く環境の変化や時代の要請に応じた次年度の経営案を作成する。</p> <p>【評価指標】 ①幼児教育の質の向上に不断に取組み、かつ不測の事態に的確に対応できるよう、人事計画を万全になされている。 ②幼稚園経営案に沿った教育・保育活動が展開され、当該年度の実施内容や反省が次年度の経営案に生かされている。</p> <p>【実行計画】 ・公平で適材適所の教職員組織を構築し、各自が目標と実行計画の立案、実施の振り返りを行って次年度に生かす。 ・幼稚園経営案作成・検討プロジェクトを各園に設置し、必要事項の検討を行う。 ・年度末に理事（保育事業担当）や顧問（幼稚園）を招き、1年の歩みに基づいた幼稚園経営検討会を実施する。</p> <p>【実施主体】 各幼稚園の園長、主任</p>
こども園	<p>【達成目標】 ・こども園における生活が家庭や地域との連続性を保ち、子どもが豊かな生活体験を得る。</p> <p>【評価指標】 ①地域の自然環境、行事や公共施設などの社会的・文化的資源並びに高齢者や異年齢の子どもなどを含む人材を積極的に活用できている。</p> <p>【実行計画】 ・こども園の周辺環境や特色を生かしたり、外部人材を活用したりする。それぞれの年齢に応じたイベントを年に複数回設ける。 ・大学の教員の授業、クラブ・サークル活動との連携を図る。</p> <p>【実施主体】 こども園</p>	<p>【達成目標】 ・認定こども園設置基準に基づき、園長、主任及び各クラスの保育教諭を配置する。 ・毎年度末に当該年度の園経営を振り返り、子どもを取り巻く環境の変化や時代の要請に応じた次年度の経営案を作成する。</p> <p>【評価指標】 ①乳幼児教育の質の向上に不断に取組み、かつ不測の事態に的確に対応できるよう、人事計画が万全になされている。 ②こども園経営案に沿った教育・保育活動が展開され、当該年度の実施内容や反省が次年度の経営案に生かされている。</p> <p>【実行計画】 ・公平で適材適所の職員組織を構築し、各自が目標と実行計画の立案、実施の振り返りを行って次年度に生かす。 ・こども園経営案作成・検討プロジェクトを園に設置し、必要事項の検討を行う。 ・年度末に理事（保育事業担当）や顧問（幼稚園）を招き、1年の歩みに基づいたこども園経営検討会を実施する。</p> <p>【実施主体】 こども園の園長、主任</p>

Seiko G PLAN 2022-2026 【学校法人清光学園の達成目標と評価指標（含実行計画）】

	財 務	人 事	危 機 管 理	施 設 整 備
学校法人清光学園	<p>【達成目標】</p> <p>健全な経営基盤を確保する。</p> <p>【評価指標】</p> <p>①教育活動資金収支差額及び単年度収支差額の収入超過を維持し、翌年度繰越資金の減少を防止する。</p> <p>②事業活動収支差額の収入超過を維持する。</p> <p>【実行計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学、短大の志願者数を入学定員以上（大学 100人以上、短大幼教一部 172人以上、第三部 80人以上）にして入学定員（大学 100人、短大幼教第一部 172人、第三部 80人）を確保し、幼稚園・こども園は入園定員（嫩 60人、第一早蕨 81人、第二早蕨 78人、こども園は豊田市指定による）を確保する。 ・人件費比率について、大学は令和2年度全国平均 49.3%（日本私立学校振興・共済事業団）、短大は同じく 63.5%（同）、幼稚園は令和2年度愛知県平均 61.7%（愛知県私学振興室）と同水準以下に、こども園は豊田市補助金限度額を超えないようにする。 ・必要と見込まれる経費は計上したうえで、経費の抑制を継続する。 ・学納金（授業料、実習費等）は定期的に見直して、適正化を図る。 ・補助金、寄付金、施設設備利用料等外部資金の獲得を図る。 ・遊休資産（土地）の売却や有効利用について検討する。 ・必要に応じた適正な借入金の利用を検討する。 <p>【実施主体】</p> <p>法人事務局各課、大学事務局各課、学部、学科、各幼稚園、こども園</p>	<p>【達成目標】</p> <p>学園の持続的な発展を図るため、教職員がやりがいをもって活躍できる人事政策を進める。</p> <p>【評価指標】</p> <p>①大学、短大とも、設置基準及び免許法の規定に基づく適切な専任教員の配置を行う。</p> <p>②教職員の専門性と資質の向上を図るため、必要な研究支援の充実を図る。</p> <p>③事務職員の能力を活かす評価制度を導入するとともに、適切な職場配置を行う。</p> <p>④幼稚園、こども園とも、園児数、支援を必要とする子どもの数等に応じた適切な教職員配置を行う。</p> <p>【実行計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の専門分野等のデータ管理を随時適切に行う。 ・研究支援のための経済支援、情報提供、研修等を行う。 ・教職員の資質向上、組織力強化のため、全教職員を対象として FD・SD 研修会を開催し、全員参加を原則とする。 ・事務職員の人事評価制度を研究し、導入、運用する。 ・就業規則、給与規程等適切な改正を検討、実施する。 <p>【実施主体】</p> <p>教務委員会／教務チーム、FD 委員会、SD 委員会、法人事務局各課、大学事務局各課、学部、学科、各幼稚園、こども園</p>	<p>【達成目標】</p> <p>学生、園児、教職員が安全安心な学園生活を送ることができる。</p> <p>【評価指標】</p> <p>①災害や日常活動中のリスクへの適切な対応ができる。</p> <p>②想定外のリスクに対し、迅速かつ組織的な対応ができる体制を整える。</p> <p>【実行計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じたリスクの洗い出しと対応計画を立てる。 ・対応策を機能させるための研修、訓練を実施する。 ・法に根拠のある防災計画は、随時更新して消防当局への届出を行う。 ・想定外のリスクへの対応の参考となる事例の収集等を行う。 <p>【実施主体】</p> <p>大学事務局各課、法人事務局各課、学部、学科、各幼稚園、こども園</p>	<p>【達成目標】</p> <p>建物ごとの活用策を明らかにするとともに、適切な改修を行う。</p> <p>【評価指標】</p> <p>①キャンパス整備計画を策定し、実施する。</p> <p>②幼稚園、こども園では、園児の安全を最優先に必要な整備を行う。</p> <p>【実行計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンパス整備計画策定のため、予算を勘案して現況調査を行う。 ・学生数の推移等を見ながら、教室の使用計画を立て、計画に反映する。 ・キャンパス整備計画に沿って、優先順位をつけた整備・改修計画を策定し、実施する。 ・計画外の不具合に適切に対応する。 ・補助金の活用、有利な借入金の検討など負担軽減策を検討する。 ・幼稚園、こども園では、定期的に適切な点検を実施する。 <p>【実施主体】</p> <p>大学事務局各課、法人事務局各課、学部、学科、各幼稚園、こども園</p>

Seiko G PLAN 2022-2026 推進体制

